

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県君津中央病院企業団 君津中央病院大佐和分院

法適用区分	象種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド訓	教 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	2,116	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 教…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
36	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	36
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
35	-	35

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域住民に密着した質の高い医療サービスを提供するとともに、本院と連携し、医療圏で不足している二次救急医療の需要に対応することで、地域に必要なとされる医療機関としての役割を果たす。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生による患者数の減により、病床利用率は前年度比1.4ポイント低下したものの、入院患者1人1日当たり収益の上昇及び外来患者数の増による収益増があり、医療収支比率は3.3ポイント改善した。これに構成市負担金等を含めた経常収支比率は、100%には届かなかったが99.7%となった。

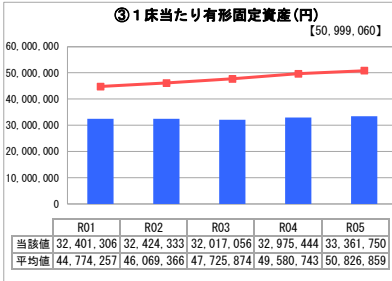
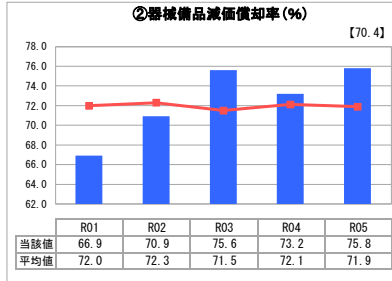
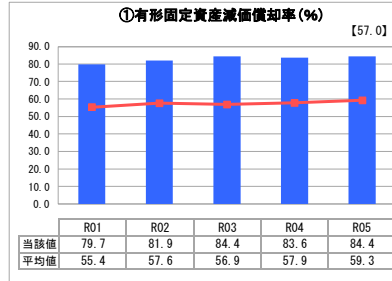
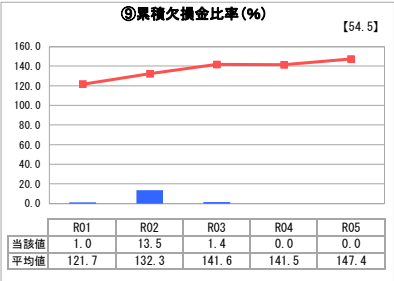
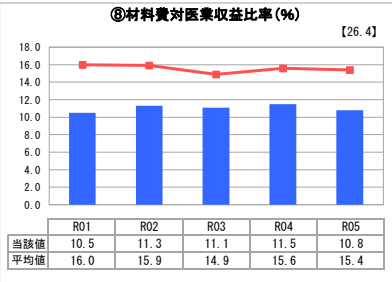
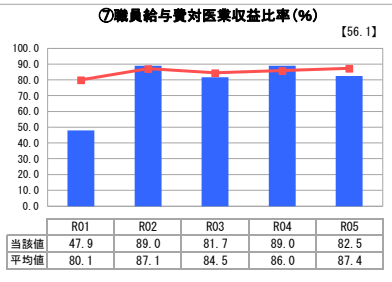
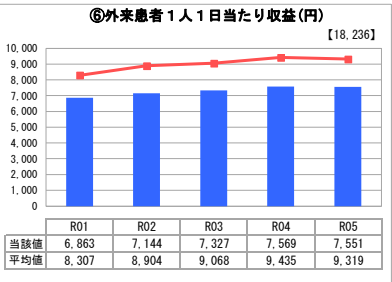
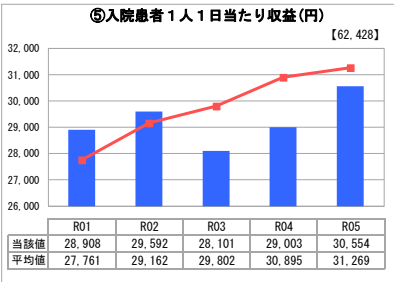
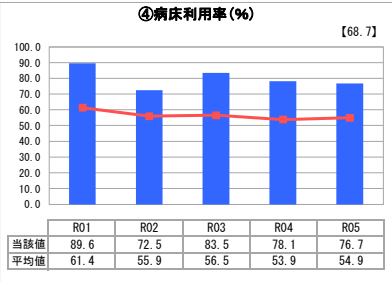
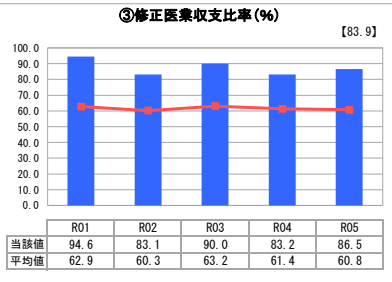
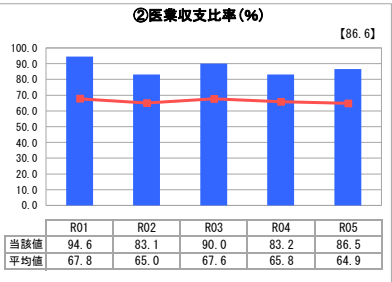
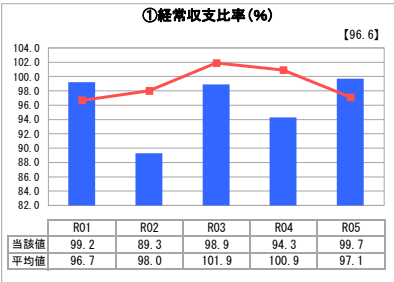
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が80%を超え、類似病院平均との比較でも大きく上回っており、建物及び建物附属設備の老朽化が深刻な状況である。

全体総括

引き続き、地域において担うべき医療提供体制を維持するため、経営の健全化・効率化に努める。  
老朽化への対応については、「大佐和分院施設整備基本構想・基本計画（平成28年度策定）」を基にした建替え計画の再開に向け、令和5年度から企業団内において検討を開始した。また、令和6年度からは構成市との協議の場を設け、既存の計画の見直しについて説明を行うなど、建替え計画再開に向けた取組を進めている。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。